

交

## 通安全感謝の会



文責 本宮小校長 佐久間仁

七日、交通教育専門員の長尾大輔様をお招きして、交通安全感謝の会を行いました。児童代表の六年生が感謝の言葉を述べ、感謝状と感謝の手紙をお渡ししました。長尾様からは、青信号に変わつても、車は止まるとは限らないので、車の動きに注意して安全に横断してほしいというお話をいたしました。この言葉を心にとどめて、今後も安全な登校ができるようにしていきたいと思います。

〔感謝の手紙〕

◇いつもわたしたちのあんぜんをみまもってくれて、ありがとうございます。おかげでげんきに一年かんとうこうすることができます。これからもわたしたちをみまもつてください。(たかはしつぐみ)



## 交通安全風ぐるま



◇今まで私たちの交通安全を守つてくださいありがとうございました。横断歩道のわたり方などを学びることができました。中学校に行つても、交通安全のルールをちゃんと守りたいです。(石井蓮花)

## 学校運営協議会

七日、今年度最後となる

学校運営協議会を行いました。次年度の学校経営・運営ビジョンや学校運営協議会の運営計画・組織などについて協議しました。委員の皆様からは、それぞれの立場から率直な意見をいただきました。

〔委員さんから〕

Q 学校経営・運営ビジョンの中の数値目標について話題になった。現状はどのくらいなのか知りたい。そうすれば、この目標設定が適切なのがわかると思う。「体力テストA・B六十%」は少し低いように感じるがどうか。体力低下は、震災以後、県の肥満傾向が高いことと関連があるように思う。

A 今年度の体力テストでは、Aが十五・八%、Bが二十五・九%でA・Bの計が四十一・七%だった。全国平均は上回っているが、まだ学校の目標値には達していない。

Q 「朝食の摂取百分率」とあるが、朝食を食べない子はどのくらいいるのか。給食以外の食生活の実態も知りたい。

A 今年度行った朝食調べでは、朝食を食べた子が九十八・五%で、食べない子が一・五%だった。



・保護者ボランティアについては、十数名ほどの希望者が集まつたと聞いたが、この活動が継続するようやり方を話し合う必要があると思う。組織づくりの際には、市の学校支援ボランティア担当者が助言をすることは可能なので、声をかけてほしい。

は、次年度も継続できるとよい。防災備蓄庫の中の備品の点検も行うことで、いざというときの備えにもなると思う。

【意見交流】

・今年度行った防災に関する取組は、次年度も継続できるとよい。防災備蓄庫の中の備品の点検も行うことで、いざというときの備えにもなると思う。

べない理由としては寝坊、食欲が五十%、汁物を食べた子が四十%である。食事（給食以外）を家族と食べた回数は、一日あたり二回が七十一・九%、一回が二十四・六%、〇回が三・六%で、孤食の家庭が一定数見られる。食生活の見直しは、学校と家庭の両輪で進めることが大切だと思う。